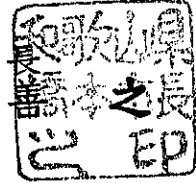


橋建設第15号
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 殿

橋本市
木下



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

道路特定財源の見直しについて、具体策が昨年12月に閣議決定されましたが、橋本市におきましては、今年、2月25日、府県間道路の国道371号橋本バイパス建設促進決起大会を開催し、約1,300名の市民の方が参加され、市民参加者の意見発表の中で、物流の輸送、通勤及び観光シーズン等の渋滞緩和、災害に強い道路、都会だけでなく地方にも目をむけてほしい等の意見があり、このような意見を反映する事により、企業誘致にも結びつき、地域の活性化につながるかと考えており、事業のスピードアップを図って頂き、新紀見トンネルを含め、早期に完成して頂きたい。

国道371号整備について、紀伊丹生川ダム建設により、世界遺産の高野山までのアクセス道路として期待をしていましたが、紀伊丹生川ダムの中止に伴い、進展していない状況化にあります。観光地へのアクセス向上や、まちなみ自体を観光資源として、整備推進して頂きたい。

国道24号につきましては、バリアフリー対策及び、歩道未設置区間もあり、交通事故対策が必要と考えます。

又、観光に来られる方で、公衆便所等休憩できる場所があればと言うご意見も頂いております。

以上要望的な意見となりましたが、地方にとって道路は生命線でありますので、よろしくお願ひします。